

生活応援だより～パンジー・ビオラの育て方 「可愛い」パンジーを上手に育てましょう

★ パンジーとビオラの違い

晩秋から早春に良く出回る花として、パンジーとビオラがあります。ところでパンジーとビオラの違いってそもそも何でしょうか？以前は「花径が4センチ以上はパンジー」、「小輪多花はビオラ」といったような見分け方もされてたようですが、現在は人工交配により花径の大きいビオラなども出ており、両者の境界は曖昧となっています。管理方法にも特に違いはなく、種袋に記載されている名称なり、苗の植物ラベルに頼るほかないのが現状です。



育てやすさ	易しい
科名/学名	スミレ科/Viola
植物分類	秋まき一年草
草丈	15～30cm
花言葉	私を想ってください

月度	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
花観賞期												
肥料												
水やり												
植付け												
種まき												

★ 苗の植えつけ

10月～3月、苗は葉の色がよく、また茎がしっかりしていて、根がよくまわっているものを選んでください。赤玉土5：腐葉土3：パーミキュライト2
元肥として緩効性化成肥料を与えます。

赤玉土:5



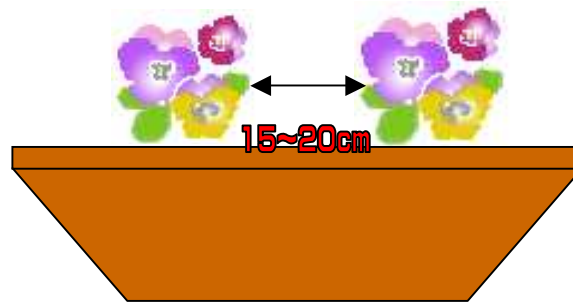
腐葉土:3



パーミキュライト:2



株と株の間にもう1株入るくらいのスペース(15～20cmくらい)を取って植えつけます。ポットいっぱい根が張ったものは、そのまま植えると用土となじまず、根づくにくいので底を少しほぐしてやりませう。



秋の植付けは10月～11月までに行い、寒さがくる前に充分根を張らせておきましょう。日光を好むので、日当たりが良い場所で管理します。日照不足になると、徒長したり花つきが悪くなります。

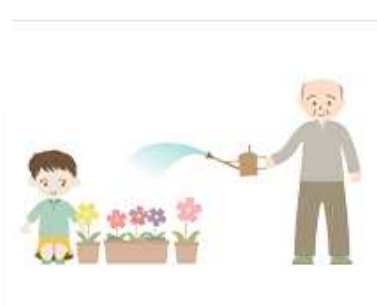
★ 水やり

水やりは、鉢植えの場合は表土が乾いたらたっぷり与えます。花壇の場合もあり乾燥が続くようであれば、土の具合をみて水やりしましょう。ただし早朝や夕方水やりは、土が凍ってしまう原因になりますから午前中、少し気温が上がってきってから、水やりしましょう。

9月～12月は、2～3日に1回程度

1月、2月は、3～4日に1回程度

3月～5月は、1～2日に1回程度



★ 肥料の与え方

パンジーは、花期が長い植物です。春になると次から次へと花を咲かせて楽しませてくれますが、その分栄養も必要となります。肥料不足になると、葉色や花色が褪せ、花つきも悪くなります。7～10日に一度の割合で1000倍に薄めた液肥などで、追肥してあげましょう。(冬の間は肥料は控えめです)

※追肥とは？

植えつけ、植えかえの元肥に対して植えかえ後の不足している栄養補給の追肥です。すぐ効くと人気の液体肥料は、「そのまま使える液肥」と水でうすめる「液体肥料原液」と「有機入り原液」の2種類があります。



★ 種から育てる

パンジーの種まきは、8月頃が適期です。ピートバンやジフィーポット、種まき用土を入れたセルトレイなどに蒔きます。用土はあらかじめ充分湿らせておき、種が重ならないように蒔いたら薄く覆土をして半日陰で管理します。発芽適温は15～20℃、種まき後一週間程度で発芽ははじめます。芽が出たら適宜間引きするとともに、徐々に慣らしながら日に当ててあげましょう。本葉が2～3枚になったら、3号ポットに移植して株を充実させます。

ポットに移植した苗は、寒さが来る前(10月頃)には定植して、根を張らせます。

品種によって開花時期は異なりますが、晩秋の11月～翌春遅くまで花を咲かせることができます。

